

有識者意見の概要及び意見に対する見解

1. 調査研究課題名 オープンスペースの実態把握と利活用に関する調査	
2. 有識者意見の概要及び見解 有識者： 浅見泰司氏（東京大学空間情報科学研究センター 教授／ 社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会 会長 及び同分科会都市計画部会都市計画制度小委員会 委員長）	
意見の概要	意見に対する見解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査全体の流れ、手法については問題ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的価値、また空地がある場所、周辺の土地利用状況、地価（土地の価値）の状況など空地自体のポテンシャルに即して区分・分類を詳細に行うことによって、さらに分析が深められるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘をうけて、可能な限り対応し報告書に反映することとしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空地の弊害には、空地で存在すること自体の問題についてもふれておくべきだろう。特に市街地においては、利活用されることを前提として、インフラ整備など社会的投資が行われているのにも関わらず、それを活かした利用がされていないということは、社会的利益の逸失でもあると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の観点を踏まえて、検討していくこととしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「暫定利用」は、今後の土地利用政策において重要なキーワードとなってくると考えている。人口減少局面にあり、常に状況が変化しているなかでは、暫定的な利用にならざるを得ないのではないか。 ・ 暫定的利用を支援する法制度の検討が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の観点について、事例調査の中でもその必要性について認識しているところである。 ・ ご指摘の点を踏まえ、検討をしていくこととしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空地の利用を進めるにあたり、人材の育成は必要なことであるが、育成した人材が、継続して活動をすることができるような仕組みもあわせて必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の点を踏まえ、検討をしていくこととしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定利用を進めるにあたって、経験とノウハウのストックを持っているシルバー人材を活用が有効ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材等による都市農地（菜園）利用などの動きも見られるので、ご指摘の通りと考える。 ・ ご指摘の点を踏まえ、検討をしていくこととしたい。